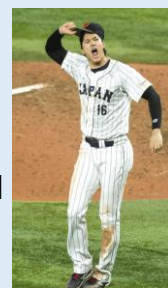


今回、野球「大谷翔平に学ぶ」とし特集しました。野球に興味を持たない、サッカー少年やアニメ少年も大谷翔平の名前だけは判るでしょう！昔、昭和の時代は巨人・長嶋／王と有名ところの名前も、実は全く知らない、興味無い方も多く居たとか。しかし大谷翔平はその野球での活躍振りに留まらず、世界のあらゆるスポーツ選手にさえ名前が轟く存在になりました。今後、バスケットボールで活躍する八村塁もそんな活躍が期待されます。



高校入学、野球部入部とともに、目標シートを作成、コツコツと努力を重ね、プロ野球の世界で活躍する事が、決して「夢」ではなく、最初に設定した目標に沿って成し遂げられている点に注目したいですね。詳しくは各々検索し学習下さい！ただ目標遂行までに、平素から「挨拶」が出来ない、していない方は、先ず日常生活の何気ない取組から心がけましょう！

スポーツマウスガードの重要性

No. 5 金属床 〇

スポーツマウスガードとは、スポーツをする際に起こる激しい衝撃や強い力から、歯や顎へのダメージ、口腔内への外傷を防ぐ役割があります。装着により次のリスクから守る効果があります。

・脳震盪の防止・口腔内のケガの防止・歯の保護・顎関節の保護

また自分の口腔内にきちんと合ったものを装着する事で、安定した噛み合わせになり力を発揮させる事が出来る為、パフォーマンス能力向上にもつながります。スポーツの中で相手とぶつかり合うコンタクトスポーツは義務化されていたり、カラー規定のある競技もあります。市販品でも販売されていますが、オーダーメイドと比べると精度・適合性がずいぶん落ちる為、自分にしっかりフィットしたマウスガードをお勧めします。

着用義務化	一部着用義務化	着用推奨
アメリカンフットボール、テコンドー キックボクシング、アイスホッケー ラクロス、総合格闘技	ラグビー(13-19歳) 空手	野球、サッカー、バレーボール バスケットボール、テニス 柔道、陸上競技、競輪 etc

歯科技工所の営業として

作 営業部 M

歯科医院を訪問し先生から技工物の依頼を受けるのが主な仕事です。

昨今は印象せずに、口腔内スキャナという小型カメラを使用してデータやり取りでの仕事も増えて来ました。しかし本当に満足して戴ける製品の納品には先生とのコミュニケーションがやはり大事だと思っております。時折、技工物装着時に訪問する事がありますが、笑顔になった患者さんを見るのは本当に嬉しいものです。我が社では保険にも力を入れており、特殊技工となる体に優しいチタン冠、また適合の良いデンチャーは入り易い、調整が少ないとの感想を戴いております。これからも、一人でも多くの先生に我が社の製品を知ってもらい、スムーズな診療をと考えております。



大谷翔平 に学ぶ・目標設定

※参考紹介程度ですので、詳細を学習される場合は、「マンドラチャート」を検索して下さい。



体のケガを減らす	FSQ 90kg	インステップ改善	体幹強化	軸をぶらさない	角度をつける	上かボールたいた
メンタル	FSQ 90kg	リリースポイントの安定	コントロール	不安をなくす	回転数アップ	キレ
食事夜7杯朝3杯	可動域	下肢の強化	体を開かない	メンタルコントロールをする	ボールを前でリリース	かま
しっかりした目標をもつ	一喜一憂しない	頭は冷静に心は熱く	体づくり	コントロール	キレ	軸でまわる
メンタル	雰囲気流されない	メンタル	ドラ1 8球団	スピード 160km/h	体幹強化	スピー 160kr
勝利への執念	仲間を思いやる心	人間性	運	変化球	可動域	ライブキャッチ
カウントボールを増やす	フォーム完成	変化球	左打者への決め球	奥行をイメージ	遅く落差のあるカーブ	ストレートと同じフォームで投げる

MLBで活躍する大谷翔平が高校1年の時に掲げた目標。

「ドラフト1位」を獲得する為に、具体的に少し高めな目標を設定するとともに、必要な要素を細分化し表記する事により、日々の目標／進捗が立てやすく「夢」に向かって進める。

「ドラフト1位」実現の為に要素を8つに分類。その分類した項目一つ一つに対して、細分化した設定を作る。

如何ですか？
営業が売上を作ったり、現場作業の効率を上げたり、様々な場面でこの大谷モデルは参考に出来ませんか？
実は花巻東・佐々木監督の教えからだそうですが、現在も新入1年生には入部当初から自ら目標設定させ、各々の掲げた目標に向かっているそうです。
人生や仕事の参考に出来そう……
……ですか？



詳しい情報は、右QRコードよりご参考下さい！



<https://studio-taico.co.jp/>



次回、花火特集ですが、今年天神祭奉納花火は開催です！

taico@studio-taico.co.jp

※ご意見・ご要望はメールでも受付しております。

※当「The Dental Journal」は、上記HPでも掲載、機関紙として過去分を含めお読み頂けます。